

令和6年度 県民提案型協働創出事業 募集テーマ一覧

No.	募集テーマ（名称と趣旨）	担当課
1	<u>お父さんのコミュニティ形成支援 ～お父さんが主役！「お父さんと一緒に遊ぼう」～</u> ○改正育児・介護休業法により令和4年10月1日から施行されている「産後パパ育休」（出生時育児休業）や「育児休業の分割取得」により、男性がさらに育児休業を取得しやすい環境が整ってきていますが、民間の「男性育休白書2023」によると本県の男性の育児力の順位は46位と下位に位置しています。 ○白書によると、秋田県の男性の家事・育児の数・家事・育児への関与度・家事育児を行う時間、育児休業の取得日数、男性の家事・育児の幸福度のすべてにおいて全国下位に位置しており、東北6県と比較しても福島県4位、青森県7位、岩手県13位、宮城県14位、山形県20位と本県は突出して男性の家事・育児に対する意識が低いことが分かっています。 ○男性は「働き盛り」「子育て盛り」が同時並行することでの大変さもある反面、子育てを通じて活動範囲の拡大や人とのつながりを持つことでの好影響も期待でき、お父さん同士が情報交換できるコミュニティを形成することで男性の家事・育児への主体的な参画を進める必要があります。 ○そのため、お父さんならではの遊びや体験を通じて、お父さん同士をつなげるコミュニティの形成を支援する企画提案を募集します。	あきた未来創造部 次世代・女性活躍 支援課
2	<u>観光ガイドのネットワーク形成を通じた秋田のおもてなし力向上</u> ○令和5年5月の新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、国内外からの旅行需要が急激に拡大しており、全国的にはコロナ禍前の状況に戻りつつあります。 ○東北地方は、全国に比べ、特にインバウンド需要の回復が遅れている状況にあるものの、令和5年12月に4年ぶりとなる秋田と台湾とのチャーター便が就航したほか、隣県においても海外との航空路線が復活するなど、今後はインバウンド需要の大幅な拡大が見込まれています。 ○インバウンド需要を確実に取り込むためには、個人・グループ化や多様化する旅行ニーズへの対応が課題となっており、観光コンテンツの造成・磨き上げのみならず、そのコンテンツの背景や良さをしっかりと伝えることができる人材の育成やスキルアップに取り組む必要があります。 ○そのため、外国語に対応できるガイドのスキル向上やガイド同士の連携の強化等により、インバウンド誘客の促進に向けたホスピタリティの向上につながる企画提案を募集します。	観光文化スポーツ部 誘客推進課

No.	募集テーマ（名称と趣旨）	担当課
3	下水道などの未利用資源を活用した循環型社会の形成 ○生活排水を微生物等で処理した後の処理水や汚泥には、窒素・リンなどの栄養分が豊富に含まれており、こうした資源を農業等に利活用し、循環型社会の形成を目指す「BISTRO下水道」の取組が全国的に広がりを見せています。 ○一方で、適正に処理された水や汚泥であっても「汚い、危ない」というネガティブな印象が先行し、十分に利用されない実情もあり、県内では再利用率は低水準にとどまっている状況です。 ○そのため、下水汚泥肥料等の肥育効果のユーザー目線での発信や環境学習の場としての活用等を通じて、環境負荷の軽減や資源循環への県民の関心を喚起し、SDGsの観点から訴求力の高い農産物や加工品の開発につなげていくための企画提案を募集します。 ※フィールドとして秋田臨海処理センター敷地（秋田市向浜）を提供可能です。並行して、当センター敷地での再エネ設備導入による地域一帯の脱炭素化を進めており、「再エネ」×「資源循環」の拠点の構築を目指しています。	建設部 下水道マネジメント 推進課